

県内上場企業の2025年3月期決算と2026年3月期予想

【注】連結ベース、※は非連結。単位は百万円、%。かっこ内は前期比増減率、▲はマイナス。■は損失。信和は国際会計基準（I F R S）のため、経常損益は税引前損益。ジーエフシーは上場廃止予定のため、2026年3月期予想を公表していない。銀行は除く。

	2025年3月期			2026年3月期予想		
	売上高	経常損益	純損益	売上高	経常損益	純損益
【電気機器・化学】						
イビデン	369,436（▲0.3）	47,890（▲6.4）	33,704（7.0）	410,000（11.0）	44,000（▲8.1）	28,000（▲16.9）
未来工業	45,113（2.3）	7,067（▲5.5）	4,833（▲5.5）	46,914（4.0）	6,283（▲11.1）	4,241（▲12.2）
ムトー精工	27,574（4.8）	2,579（6.0）	1,510（▲14.8）	25,500（▲7.5）	2,250（▲12.8）	1,580（4.6）
【輸送用機器】						
太平洋工業	206,129（▲0.6）	17,273（▲8.3）	13,221（▲22.1）	202,000（▲2.0）	15,500（▲10.3）	11,000（▲16.8）
J-MAX	47,102（▲13.3）	■535（赤字化）	■3,282（拡大）	49,000（4.0）	800（黒字化）	350（黒字化）
レシップHD	25,931（14.3）	3,483（▲2.1）	2,255（▲6.7）	24,000（▲7.4）	1,100（▲68.4）	800（▲64.5）
【繊維・紙・木製品】						
※セブン工業	15,419（1.0）	189（4.5倍）	184（黒字化）	16,100（4.4）	100（▲47.1）	70（▲62.2）
ハビックス	13,403（1.5）	792（▲10.2）	672（▲0.4）	13,500（1.4）	550（▲32.0）	400（▲38.7）
【金属・機械】						
KVK	29,648（▲0.5）	3,072（7.2）	2,110（6.6）	30,500（2.9）	2,800（▲8.9）	1,900（▲10.0）
信和	17,503（38.1）	1,498（2.3倍）	975（2.4倍）	17,800（1.7）	1,520（1.4）	1,000（2.6）
和井田製作所	7,554（0.2）	734（▲32.7）	435（▲40.2）	7,566（0.2）	623（▲15.1）	395（▲9.0）
【土石製品】						
TYK	31,933（6.4）	5,032（24.2）	3,130（31.6）	29,710（▲7.0）	4,100（▲18.5）	2,640（▲15.7）
美濃窯業	15,058（6.3）	1,680（14.3）	1,217（15.4）	16,000（6.3）	1,850（10.1）	1,300（6.8）
【小売り・卸売り】						
バローHD	854,435（5.8）	26,179（2.2）	13,654（14.3）	902,000（5.6）	28,000（7.0）	14,000（2.5）
※セリア	236,327（5.9）	16,993（11.0）	11,218（14.2）	242,900（2.8）	15,400（▲9.4）	10,200（▲9.1）
ジーエフシー	22,382（2.1）	649（▲25.2）	404（▲32.5）			
【運輸】						
セイノーHD	737,377（14.7）	28,124（14.8）	19,253（32.2）	813,700（10.4）	38,300（36.2）	22,000（14.3）
【サービス・情報・通信】						
トカイ	149,542（8.2）	8,838（3.9）	4,733（▲18.5）	157,976（5.6）	8,590（▲2.8）	5,499（16.2）
サンメッセ	16,436（▲1.2）	350（▲15.5）	332（29.2）	17,190（4.6）	345（▲1.4）	215（▲35.0）
文溪堂	12,475（▲3.0）	934（▲11.0）	602（▲12.3）	12,597（0.9）	989（5.8）	654（8.6）
中広	11,332（10.7）	322（4.8）	163（▲15.1）	13,200（16.5）	410（27.1）	240（46.6）
日本ソフトウェア	5,299（▲0.8）	■75（赤字化）	■157（赤字化）	4,947（▲6.6）	325（黒字化）	188（黒字化）

3月期決算

県内上場企業22社（3月期決算、銀行を除く）の2025年3月期決算が19日、出そろった。全22社のうち、全体の68・2％に当たる15社が増収、うち9社が過去最高だった。45・5％の10社が純利益で増益（黒字化含む）だった。販売価格の値上げや企業の合併・買収（M&A）効果が全体を押し上げた。

値上げ、M&A寄与

22社まとめ

県内上場企業15社増収

売上高が過去最高だったのはバローホールディングス（HD）、セイノーHD、セリア、トカイ、未来工業、TYK、ムトー精工、美濃窯業、中広。バローHDとセリアは既

存店の売り上げが堅調に推移したことに加え、新規出店も増えた。セイノーHDとトカイはM&Aによる子会社化が寄与。未来工業は製品の値上げが増収につながった。ムトー精工はデジタルカメラ部品、TYKは北米市場向け耐火物の受注が好調。美濃窯業は半導体関連の需要回復に伴ってプラント事業の受注が伸びた。増収率トップはグループ

入りした子会社の連結効果で3期ぶりの増収となった。信和の38・1％だった。純利益ではバローHDとセイノーHD、イビデン、セリア、TYK、KVK、信和、サンメッセ、セブン工業、美濃窯業が増益だった。自動車部品は、太平洋工業が自動車大手の認証不正問題に伴う生産停止の影響で減収減益。J-MAXは主要取引先向け自動車部品の生産減少が響いて減収、純損益は赤字幅が拡大した。

1を除く21社のうち全体の76・2％の16社が増収を見込む。大半は、トランプ関税の影響を業績に織り込んでいないが、52・4％の11社が純利益で減益を見込む。